

出席者の意見書

-- 武田薬品との第3回住民対話(4/19)を終えて --

武田問題対策連絡会

- 意見 1
- 1 住宅地では、動物実験と動物焼却は行うべきではない。
 2 武田が誠実に対応しないのであれば、開発能力もないとみなすべき。跡地は、データセンターと倉庫にすればよい。
 3 工場の場合は、栄養剤のみにすればよい。
 4 このままでは、将来武田は世界中から非難されるであろう。
- 意見 2
- 何を云っても無駄の感じはぬぐえません。プロジェクトの成功は結構なことでしょうが、住民への迷惑も考えて欲しい。自分のところだけ良ければでは通りませんよ。住民との協定は大事なことです。
- 意見 3
- 新研究所問題の根本は、武田薬品の「会社としてのあり方」の問題とかがええます。経営責任者との話し合いが不可欠であります。
- 意見 4
- 武田の研究所と原発とどちらが安全か？ 原発の方が安全だとおもう。原発は皆の目が注がれ、少しでも漏れたら大変、出口における連続的な絶えざる計測で原因者もすぐわかります。市民全員が監視しています。国も監視しています。
- 武田の研究所はどうでしょうか。99%の人が無関心です。武田から危険な細菌・ウイルスが出て市民が病気になっても武田が出したことの証明が難しい。武田も知らんぷりできるでしょう。病気をもらった人が近所の人から爪はじきされるだけです。
- 新潟地震では建屋は壊れたが原子炉からの放射能漏れは起きなかった。しかし、研究所の場合は地震で試験管がたおれ排水に流れ込むのをどうするのか。市は住民に対する過去の約束を曲げてまでして、原発よりよほど危険なものをこの地に作らせて良いのか。市は約束を守れ。
- 意見 5
- 今回の集会で不安が大きくなりました。武田の皆さん、ぜひ研究所の近くに住んで下さい。そうすれば、私達の不安がわかります。
- 武田側の意識の低さに驚きました。何に対しても日本一！を目指して下さい。
- 意見 6
- 武田側の「法令を遵守している」との見解は、自社にとって都合のよいように、解釈をねじ曲げたり、基本の文脈をはなれて局所的つまみ食いをしているところが多いとおもう。
- 自治体の側も、自らこのプロジェクトの本質(安心・安全)を使命感をもって考えることは全く無きに等しい。これがこれだけ住民側の反発にあっている理由ではないでしょうか。
- 意見 7
- 風についていえば午前中は山からの風、午後は海風が吹きます。従って午前中は鎌倉から戸塚方面、午後は藤沢東部一帯が排気にさらされます。運動を広めるため、横浜市住民も巻き込むことが必要です。
- 意見 8
- 連絡会の人達(いつもご苦労様です)の質問が長すぎて、難しく良くわかりません。もっと短くして運動が広がるように話して下さい。
- 新井先生の話はとても良かったです。反対しなければいけない理由が良くわかり、力になりました。今度、新井先生の講演会をやってください。
- 意見 9
- 対話集会に出席して住民の安心、安全に対する気持ちはよくわかった。
- 武田は「法令遵守」だけでなく、人智で解決できるギリギリの限界まで、安全・安心の施設を作る努力をしてもらいたい。素晴らしい研究所になる事を祈念しております。
- 質問者が集会で必要以上に細かく科学的根拠について追及したり、WHOの翻訳論争をしかけているのが気になった。